

別記様式(第5条関係)

令和 7 年 3 月 31 日

南国市議会議長

岩 松 永 治 様

議員名 神 崎 隆 代

令和6年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和6年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和6年度政務活動費収支報告書

議員名 神 崎 隆 代

1 収 入

政務活動費 120,000円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費		
研 修 費	69,640	研修会参加経費
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	21,890	書籍購入費
合 計	91,530	

3 残 額 28,470円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第 1 号様式

令和 6 年度 政務活動費 出納簿

議員名 神 崎 隆 代

(円)

整理 番号	月日	項目	摘 要	収入金額	支出金額	差引残高
	R6. 4. 12		政務活動費	120, 000		120, 000
1	R7. 1. 21	2	研修会参加(1. 20-1. 21 大津市) 旅費、受講経費		31, 400	88, 600
2	R7. 1. 21	8	書籍購入 ・しんどいからおもしろいねん		1, 980	86, 620
3	R7. 2. 5	2	研修会参加(2. 3-2. 5 大津市) 旅費、受講経費		38, 240	48, 380
4	R7. 3. 19	8	書籍購入 ・議員必携第 12 次改訂新版		3, 630	44, 750
5	R7. 3. 19	8	書籍購入 ・瞬時に「言語化できる人」がうまくいく。 ・あした死ぬかもよ? ・あした死んでも後悔しないためのノート		5, 060	39, 690
6	R7. 3. 24	8	書籍購入 ・有斐閣ポケット六法令和 7 年版 ・有斐閣判例六法令和 7 年版		6, 380	33, 310
7	R7. 3. 24	8	書籍購入 ・仕事ができる人のパワポはなぜ 2 色なのか? ・2 4 TWENTY FOUR ・子どもを伸ばす言葉実は否定している言葉		4, 840	28, 470

※項目… 1. 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費
6. 会議費 7. 資料作成費 8. 資料購入費

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 神崎 隆代

整理 番号	1	項目	1. 調査研究費 ②. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費
年 月 日	令和7年 1月20日（月）～令和7年 1月21日（火）		
相手方・ 調査先等	研修会「令和6年度第3回市町村長等・議会議員特別セミナー」 （主催：全国市町村国際文化研修所（JIAM））		
場 所	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）		
活動内容 等 （目的、 内容、結 果、所感 等を記入）	1月20日（月） 講義：アート×福祉 東京藝術大学 学長 日比野克彦氏 所感等 心豊かな活力ある社会の形成にとって芸術が重要な役割をもつことについての理解をうながす活動や、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献するために東京芸大が行っている取組についての話があった。高齢者でも障害があっても子どもでも外国人でも、アートは言葉を超えて人と人を繋いでくれる、多様な人のウェルビーイングの実現のために福祉にアートの視点を取り入れたコミュニケーションの場の創設などの事例を知り得た。 講義：安心して認知症になれる社会を目指して ～一人ひとりのマイクロハピネスをみんなのウェルビーイングに～ 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 認知症未来共創ハブ代表 堀田聡子氏 所感等 認知症基本法は、共生社会の実現を推進するためのものであり、認知症の人だけのものではない、すべての人が自分自身の当たり前の権利が守られる社会を目指すためのもの。自治体は、介護保険事業計画中の介護計画だけにこだわらないで、暮らしやすい地域を作るために、認知症の本人とともに暮らしている場所に足を運びながらまちづくりについて考えてほしい。安心して認知症になれるとは、認知症になっても社会参加ができるつながりのある場所とひとがいて、いつでも支援を求めることができること、そして、役割があることで生きる意欲を保ち続けられることだと感じた。 1月21日（火） 講義：誰もが誰かの応援者～「地域」で応援し合うために～ 社会福祉法人わたむきの里福祉会理事		

東近江圏域働き・暮らし応援センターTekito(テキトー)

前所長 野々村光子氏

所感等

障がい者やひきこもりで働いたことがない人の支援に取り組んできたことを、その一人ひとりが職に就くために多くの人の支援があったことをひとつひとつ語ってくれた。情熱と必死さと汗と涙のあたたかさいっぱい講義だった。制度ではおいつかない大事な取組であり、ひとりに寄り添い家族のように支える姿に感動した。地域を巻き込み、多くの社長が応援団として加わってくれるまでのやりとりも豪快だ。

誰かが誰かの応援団。「最大の応援とはどういうことか。それはあなたのことをしているということ」この言葉が印象に残っている。

講義：人と人、人と自然をつなぐ～地域内での資金循環の仕組みから～

公益財団法人東近江三方よし基金

常務理事兼事務局長 山口美知子氏

所感等

- ・補助金つかなくても寄付で集めよう。
- ・企業誘致は、ソーシャルキャピタルがある場合の方が進む。相談しやすい人が地元にいるほうが来やすい。
- ・お金はタンス預金になってしまうと意味がない。地域でお金がまわるように意識して仕組みをつくり、地域経済の活性化につなげる。
- ・休眠預金の活用で出資
- ・事業の継続性を意識した提案、補助金をもらっている間だけやるのではなく、来年度はどういう状態までもっていけば継続できるかまでもっていく、望む形で継続ができるように伴走する。

など、勉強になった。

今回の研修の講師の皆様は、日頃からつながり協力し合いながら様々な支援に取り組まれている。人と人のつながりがあらゆる困難も乗り越えて、よりよい支援がなされていくと感じた。今後も機会があるごとに研修に参加し、施策に活かせることができるように見聞を深めたいと思う。

活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)
	高知空港	航空機	往復運賃	20,720
	↓	空港バス	往復運賃	2,680
	湖西線唐崎駅	JR	往復運賃	480
	研修費等	研修費、宿泊費、食費		7,300
	振込手数料			220
	日当			
	合 計			31,400

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 神崎 隆代

整理 番号	3	項目	1. 調査研究費 ②. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費
年 月 日	令和7年2月3日（月）～令和7年2月5日（水）		
相手方・ 調査先等	研修会「令和6年度市町村議会議員研修「3日間コース」 「人口減少社会における議会の役割」 （主催：全国市町村国際文化研修所（JIAM））		
場 所	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）		
活動内容 等 （目的、 内容、結 果、所感 等を記 入）	2月3日（月） 講義：これからの地方議会への期待～人口減少社会を見据えて～ 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎氏 講義：人口減少社会における南砺市の取組 富山県南砺市長/地域共生政策自治体連携機構 代表理事 田中幹夫氏 2月4日（火） 講義：人口減少社会について考える～若者の未婚や少子化の視点から～ 日本総合研究所調査部 上席主任研究員 藤波匠氏 講義：人口減少社会について考える～人口推計の結果を踏まえた視点から～ 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授 田村秀氏 演習・意見交換：これからの地域の姿を考える～議員として何ができるか～ 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授 田村秀氏 2月5日（水） 講評・まとめ：人口減少社会における議会の役割 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授 田村秀氏 各班ごとに話し合ったことを発表		

